



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 アトム

上場取引所 東名

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,806	1.9	994	2.8	1,028	1.8	306	152.0
29年3月期第2四半期	26,314	△0.0	967	△42.7	1,010	△41.2	121	△86.1

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 313百万円 (163.3%) 29年3月期第2四半期 119百万円 (△87.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.48	—
29年3月期第2四半期	0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	33,276	15,732	47.3	63.54
29年3月期	33,041	15,855	48.0	64.03

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 15,732百万円 29年3月期 15,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,926	2.4	2,259	13.5	2,293	12.4	558	358.9	2.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	184,559,297 株	29年3月期	184,559,297 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	470,946 株	29年3月期	470,821 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	184,088,454 株	29年3月期2Q	182,665,950 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

※ 当社は、下記のとおり投資家向けの説明会を開催する予定です。
平成29年11月8日(水)・・・機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は268億6百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は9億94百万円(同2.8%増)、経常利益は10億28百万円(同1.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億6百万円(同152.0%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間において新規出店を4店舗、ブランド変更を4店舗、改装を15店舗行い、不採算店10店舗及び契約終了により1店舗を閉鎖、FC契約終了により2店舗減少し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は481店舗(直営店466店舗、FC店15店舗)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新店4店舗(「ステーキ宮」2店舗、「ステーキとローストビーフ井のお店宮」1店舗、「カルビ大将」1店舗)をオープンし、ブランド変更を3店舗(「ステーキ宮」から「カルビ大将」へ2店舗、「ステーキ宮」から「にぎりの徳兵衛」へ1店舗)、改装を13店舗(「にぎりの徳兵衛」5店舗、「ステーキ宮」3店舗、「味のがんこ炎」2店舗、「かつ時」2店舗、「海鮮アトム」1店舗)、不採算店4店舗(「ステーキ宮」1店舗、「味のがんこ炎」1店舗、「カルビ大将」1店舗、「ラバウザ」1店舗)及び契約終了により1店舗(「にぎりの徳兵衛」)の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は284店舗となりました。

以上の結果、レストラン事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、182億26百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、ブランド変更を1店舗(「暖や」から「寧々家」)、改装を2店舗(「寧々家」2店舗)、不採算店6店舗(「甘太郎」2店舗、「いろはにほへと」2店舗、「暖や」1店舗、「寧々家」1店舗)の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は151店舗となりました。

以上の結果、居酒屋事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、69億23百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は31店舗であります。

以上の結果、エンターテインメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、12億46百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、FC契約終了により2店舗(廻転寿司アトムボーイ)1店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗)減少し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店15店舗となりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、4億10百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加し、332億76百万円となりました。その要因は現金及び預金を主とした流動資産の増加12億46百万円、土地及び建物を主とした固定資産の減少10億11百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加し、175億44百万円となりました。その要因は買掛金、未払法人税等及び短期借入金を主とした流動負債の増加13億79百万円、長期借入金を主とした固定負債の減少10億21百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億23百万円減少し、157億32百万円となりました。その要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は52億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億57百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は23億53百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益(8億27百万円)及び減価償却費の計上(10億80百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は70百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(7億57百万円)、預り保証金の返還による支出(3億15百万円)及び有形固定資産の売却による収入(9億47百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億26百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出(11億2百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,947	5,204
売掛金	764	766
たな卸資産	424	402
その他	884	893
流動資産合計	6,021	7,267
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,916	11,198
土地	3,162	3,106
その他(純額)	2,479	2,553
有形固定資産合計	17,557	16,857
無形固定資産		
のれん	720	660
その他	89	87
無形固定資産合計	809	747
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,658	6,448
その他	2,037	1,996
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	8,652	8,403
固定資産合計	27,020	26,008
資産合計	33,041	33,276
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,036	3,335
短期借入金	—	620
1年内返済予定の長期借入金	2,039	1,972
未払法人税等	407	725
販売促進引当金	486	514
引当金	93	144
その他	3,895	4,025
流動負債合計	9,958	11,337
固定負債		
長期借入金	3,608	2,952
資産除去債務	1,273	1,118
その他	2,345	2,135
固定負債合計	7,227	6,206
負債合計	17,186	17,544

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073	4,073
資本剰余金	7,116	7,116
利益剰余金	4,840	4,709
自己株式	△189	△189
株主資本合計	15,841	15,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	22
その他の包括利益累計額合計	14	22
純資産合計	15,855	15,732
負債純資産合計	33,041	33,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	26,314	26,806
売上原価	8,460	8,765
売上総利益	17,854	18,041
販売費及び一般管理費	16,886	17,046
営業利益	967	994
営業外収益		
不動産賃貸料	209	186
その他	56	44
営業外収益合計	266	230
営業外費用		
支払利息	73	63
不動産賃貸原価	147	128
その他	4	4
営業外費用合計	224	196
経常利益	1,010	1,028
特別利益		
固定資産売却益	24	536
受取補償金	83	—
特別利益合計	108	536
特別損失		
固定資産除却損	167	121
減損損失	152	493
賃貸借契約解約損	20	74
その他	13	49
特別損失合計	354	738
税金等調整前四半期純利益	763	827
法人税、住民税及び事業税	487	506
法人税等調整額	154	14
法人税等合計	642	520
四半期純利益	121	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	121	306

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	121	306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	7
その他の包括利益合計	△2	7
四半期包括利益	119	313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	313

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	763	827
減価償却費	1,228	1,080
のれん償却額	59	59
販売促進引当金の増減額(△は減少)	98	27
支払利息	73	63
固定資産売却損益(△は益)	△24	△536
固定資産除却損	167	121
減損損失	152	493
受取補償金	△83	—
売上債権の増減額(△は増加)	60	△2
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38	22
仕入債務の増減額(△は減少)	100	299
未払消費税等の増減額(△は減少)	△128	△7
その他	0	83
小計	2,428	2,531
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	△73	△64
補償金の受取額	83	—
法人税等の支払額	△1,104	△125
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,345	2,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,260	△757
有形固定資産の売却による収入	78	947
敷金及び保証金の差入による支出	△439	△226
敷金及び保証金の回収による収入	254	337
預り保証金の返還による支出	—	△315
その他	△38	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,405	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,170	620
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△555	△488
長期借入れによる収入	580	380
長期借入金の返済による支出	△1,191	△1,102
配当金の支払額	△449	△434
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446	△1,026
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△506	1,257
現金及び現金同等物の期首残高	4,038	3,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,532	5,204

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。